

## 第2期豊川市スポーツ振興計画（案）の意見募集結果と市の考え方

提出された意見等の要旨、意見等に対する市の考え方は次のとおりです。

なお、単に賛否の結論だけを示した意見、第三者を誹謗中傷するもの等についてはその内容を公表せず、意見等に対する市の考え方は示しません。

### 項目：計画の骨子に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
1	<p>今回のスポーツ振興計画（案）では、みる・ささえる・いかすスポーツにより重点が置かれ、国が力を入れているスポーツの産業化に関わる項目が見受けられる。</p> <p>しかし、市が行うスポーツ振興の基本にするべきは、「市民のスポーツ権」の保障です。「市民のスポーツ権」を明確に打ち出した計画や施策の展開にしてください。</p>	<p>スポーツは、「する」ことも重要ですが、「みる」ことがきっかけで「する」「ささえる」ことを始めたり、「ささえる」ことで「する」ことのすばらしさを再認識したりすることもあります。スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで多くの人々がスポーツに関わり、その価値が高まっていくと考えられています。また、スポーツを「いかし」、産業や観光と結びつくことで地域経済の活性化などにもつながると考えられます。</p> <p>国の計画にあるスポーツの産業化は市の計画策定の参考にはしていませんが、本計画の基本理念においては、市民がスポーツを通して、仲良く健康に生き生きと暮らすことのできるまちを目指すとともに、スポーツの持つ力を「いかし」、市民のみならず、地域全体が活性化するまちを目指すとしています。</p> <p>ご意見の趣旨としては、市民がスポーツをできるように市として努めるべきということだと思われまますので、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

項目：計画の基本的事項に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
2	5頁のスポーツ実施率向上のための行動計画について、〔3〕施策に取り組むべき主体は、①国②地方自治体となっています。小坂井B&G海洋センターの設立は、B&G財団です。この取り組むべき主体に沿っていないと思います。	小坂井B&G海洋センターは、旧小坂井町が誘致を行い、B&G財団が平成12年7月に開設し、旧小坂井町に譲渡され、現在は、市の施設となっています。
3	2頁の「すべてのスポーツ」のカットに、「水泳」がないのはなぜか。水泳・スイミングがないのは、不自然だと思います。	いつでも、どこでも、だれとでも気軽にできるスポーツであることやアンケート調査結果などを踏まえて、例示するスポーツについて総合的に判断し選定しています。

項目：ウォーキングに関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
4	<p>ウォーキングに票が集まり、コースの整備などが必要かもしれません。凸凹の少ない歩道づくりを意識したり、誘導ブロックなどの環境づくりなどが期待されます。</p> <p>ウォーキングは「教室」や「大会」でなくてもいいと思います。スポーツは他人と比べなくてもいいものです。サポートがあることで歩かない人が歩くのなら、大きな効果があることだと思います。ユニバーサルデザイン環境の整備は成果が見えにくいですが、運動が必要な人たちの活動を支えることだと思います。</p> <p>計画に、市民にとって身近な存在であるはずの都市公園についての記載が少ないと感じます。</p>	<p>ウォーキングは、いつでもどこでも気軽にでき、身近な道路や公園などでも実施している方が多くいると思われます。ご意見を踏まえ、次のとおり修正したいと考えます。</p> <p>37頁の方策①について「施設総量の適正化や長寿命化を図るための計画を策定し、スポーツ施設の工事・修繕を計画的に進めていくとともに、道路や都市公園などを有効活用することで、市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。」と修正します。</p>

項目：子どものスポーツ機会に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
5	<p>① 30頁の方策①子どものスポーツ機会の充実について、小学生の部活動の大会を減らしたり、サッカーは男子、バスケットは女子しか大会がない等、性別によって、種目が制限されることは、今の時代にそぐわないと思います。</p> <p>小学生の部活動を廃止することになれば、運動する機会が減ってしまいます。月謝や親の当番などの負担がある民間のスポーツクラブ、スポーツ少年団等は、受け皿にはなりません。</p> <p>② 20頁のBゾーンの「子どものスポーツ機会の充実」は市民の願い。市の具体的な取り組み内容は何か。市プールの新設をこの政策に掲げると良いと思う。</p>	<p>変わりゆく社会情勢の中で、中長期的には部活動が縮小していくことも考えられますが、学校活動の中において、スポーツに関する取り組みを充実させることが必要と考えます。具体的には、体育の授業を面白くして運動好きの子どもを増やしたり、一校一取り組みとして各校に合ったスポーツ行事を実施したりして、子どものスポーツ機会を確保していきたいと考えています。</p>

項目：連携に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
6	<p>保健センターや福祉の施設で行われている健康体操についても記載がありません。市内にはいくつもの育児サークルがあり、乳幼児とともにリズム運動を行ったり、産後のケアとしての体操を行ったりしています。オープンカレッジでも、地域の情報でも体操教室を見かけます。</p> <p>市として、活動の場を提供することができることはとてもいいことだと思います。</p> <p>他部他課での取り組みに協力する、その活動から学ぶ、そういった意識がないと繋がりは続かないと思います。スポーツを支える活動が一部の特別な人だけに負担を押し付けるものではない、よいかたちを作れるように体制を整えていく必要があると思います。</p>	<p>スポーツ振興を図るためには、異分野との連携や情報発信などにより、スポーツに触れる機会を増やしていくことが、重要であると考えています。</p> <p>なお、ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

項目：プールの存続、新設に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
7	<p>① 更衣室のロッカーの鍵が壊れていたり、ロックスライダーが使用できない状態であったので、修理など維持管理に取り組んでいけば、利用者が減少せずに存続できたのではないか。</p> <p>② アンケート調査では、成人市民の「整備・充実してほしい施設」の第2位が温水プールで、小中学生の児童・生徒の「あるとうれしいスポーツ施設」の第1位がプールだったので、プールが欲しいです。</p> <p>③ プールは、レベルに応じて楽しむことができ、ひざや腰が悪い方もできるスポーツで、健康維持にもつながることから、要望が高くなっています。</p> <p>④ 市民プールにはスライダーもあり、多くの子ども達が楽しんでいました。大人や老人にとっても健康でいられるので、豊川市にとっても良いことだと思います。是非、プールを復活させてください。</p> <p>⑤ 子どもが自転車で行ける場所で、子どもから高齢者までが利用でき、一年中利用できるような屋内の温水プールを造ってほしい。</p> <p>⑥ 安城市や西尾市にあるようなゴミ焼却炉の余熱を利用した温水プールなども良いと思います。</p> <p>⑦ 泳ぎ方を教えてくれる指導員がいるプールがほしい。</p> <p>⑧ 子ども達は、市民プールに行けるのを楽しみにしている。 学校のプールとは違い、友達同士で行ける解放感や緊張感を持てる経験は大事です。市民プールと隣接させて、木のある公園を造ってほしいです。</p>	<p>市プールは、建設から50年経過し老朽化が進んでおり、今後の維持管理費が多額になること、また利用者の減少もあり、施設を維持することが大変難しい状況となったため、廃止しました。</p> <p>市内にある屋内温水プールの小坂井B&amp;G海洋センターをしっかりと維持管理するとともに、施設整備においては市民のニーズを踏まえて、スポーツをする環境づくりに努めていきます。</p>

⑨ 子どもの夏休みの楽しみであるプールをなくすことは考えられません。人寄せのための施設ばかりでなく、市民の声を聞いて市政を考えてください。

⑩ 25頁の課題⑦スポーツ施設の整備・利用促進について、プール・スポーツジム施設を民間に任せるのではなく、市が主体となって整備することが重要だと思います。

市内には、民間の温水プールが結構あるが、行けない人もいるため、誰でも利用しやすい市民プールが求められている。

⑪ 市民プールが欲しいという市民の声が計画の中に反映されていません。

今回の計画に「市民プール新設」を反映してください。

⑫ アンケート調査では、成人市民の「今後してみたい、続けていきたいスポーツ」として、水泳は、前回第2位で、今回第4位。「いつでも、だれでも、気軽にできる」スポーツであるので、市民プール廃止は間違っている、新設の検討を求める。

⑬ 19頁の整備・充実してほしい施設の第2位が温水プールとスポーツジムとなっているが、ジム付温水プール建設の検討はされないのか。

項目：プールの代替に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
8	<p>① 市民プールの廃止が決まっていることから、プールの整備を望む声が上がっています。市としてはB &amp; G海洋センターに注力することになりますか。もっと泳ぎたければ、民間のプール施設や他市に足を延ばすことになると思います。市で責任をもってプールの整備・管理をすることが難しいのか、どのような形が望ましいと思っているのか。</p> <p>② 学校のプールは、夏だけ校区民の利用を可能とし、管理は委託しても良いかも。</p> <p>③ 市民プールに替わるものとして、小学校のプールはこれまでに以上に開放することは困難であり、小坂井B &amp; G海洋センターは、元気の良い子ども達が泳げるスペースはありません。また、赤塚山公園の水の広場は、小中学生が泳げる施設ではないと思います。</p>	<p>市プールの廃止にあたっては、現状や課題などを踏まえて今後の方向性を検討し、プールの需要について整理しました。</p> <p>幼児については、小坂井B &amp; G海洋センターの幼児用プールや赤塚山公園の水の広場などは、水遊びができると考えており、今後も適切に施設を管理し、幼児が水に親しめる環境の確保に努めます。</p> <p>小学生については、プールの利用状況調査（平成29年度）によると市プールが1シーズンで1人当たり平均1.6回、夏休みの学校プールが3.2回利用しており、合計すると4.8回でした。学校プール開放は、天候等で中止となったものを除いても1人当たり約8回実施されていますので、通常の学校のプール開放で対応できると考えています。</p> <p>中学生については、市プールに近い学校の生徒が比較的多く利用していますが、旧宝飯4町の生徒はほとんど利用していないのが現状であるため、自転車等で行くことができる小坂井B &amp; G海洋センターで対応できると考えています。</p> <p>大人については、自動車等による移動ができ、小坂井B &amp; G海洋センター及び民間プール等で対応できると考えています。</p> <p>また、ファミリーでのレジャー利用については、近隣市の大型レジャープールで対応できると考えています。</p>

項目：指定管理者制度に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
9	指定管理制度の導入当初に比べ、自主事業が増え、小坂井B & G 海洋センターはじめ民間の儲けのための施設という側面が強くなってきています。	民間の活力や知識などを活用するために指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と経費の縮減を図っており、市民ニーズを捉えた自主事業を実施したり、迅速な修繕を行ったりして施設利用者の満足度向上に努めています。
10	38頁の方策①指定管理者制度の有効活用について、豊川市のスポーツ施設のほとんどは、アイレクススポーツライフが指定管理者になっているのはなぜですか？ 以前は、総合体育館、柏木浜パターゴルフ場、御幸浜パターゴルフ場等でシルバー人材の方が勤務されていたと思います。	本市のスポーツ施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入しています。 スケールメリットを生かした公募を行うため、複数の施設を一括して公募を行い適正に選定しており、現在は、アイレクススポーツライフ・ホームメックス共同企業体を指定しています。

項目：施設に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
11	① 佐奈川沿いなどにウォーキングコースを整備してほしい。 ② 高齢者も健康増進を図れる施設も造ってほしい。 ③ 親子、兄弟で一緒にいろいろなスポーツができる施設があるとうれしいです。 ④ 教員の働き方改革の関係で、小中学校の部活が縮小や社会教育に移行する方向になると思います。これからの10年は、子どもがスポーツを継続的に取り組める環境づくりが重要であるため、部活動に対応できるように多くの競技ができる施設がほしい。	ご意見につきましては、今後の施設整備の参考とさせていただきます。
12	10年後を見通しての計画には、現時点で考えられる最高水準（予算内）の設備が継続的に使用できるよう、メンテナンスすることが必要であり、現在ある施設の老朽化対策と補修をすべき。	多くのスポーツ施設は、老朽化が進んでいるため、利用状況や維持管理費用等も踏まえ、施設総量の適正化や長寿命化を図るための計画を策定し、スポーツ施設の工事・修繕を計画的に進めていきます。